## 委員会活動 報告書

日本技術士会中国本部防災委員会

事業名称	令和 4 年度第 1 回 WEB 防災講演会・ライブ配信
	公益社団法人 日本技術士会 中国本部防災委員会:(一社)建設コンサルタンツ協会
	中国支部:共催、広島県災害復興支援士業連絡会:協賛
実施時期	2022年8月3日(水) 13:00~17:00
実施場所	広島弁護士会館(集合,Teams を使った Web 配信)
	鳥取、倉吉、山口、島根の各拠点会場での集合形式と自宅等での個人視聴
参加人数	440 名 (会場計 70 名, オンライン 370 名) CPD 3 時間 30 分
事業内容	テーマ:「地域防災力の向上に向けて」
と感想	13:00 開会挨拶 (一社)建設コンサルタンツ協会中国支部支部長 小田 秀樹 氏
	13:05 講演①「切れ目のない防災教育の展開による地域防災力の強化」
	愛媛大学特命教授 矢田部龍一 先生 14:05 講演②「行政・NPO・ボランティアの三者連携」
	THE NOTE
	15:05 休憩 (10分)
	15:15 講演③「DIG 防災マップの取り組みなどで考えたこと」
	(公社) 日本技術士会中国本部防災委員会 福田直三 氏 16:15 講演④「地域における自主防災活動について」
	16:15 講演④「地域における自主防災活動について」   広島市議会議員 山田春男 先生・西佐古晋平 先生
	16:45 話題提供「広島県民一人一人が災害に備える~防災タイムライン」
	広島県防災タイムライン啓発事務局(中国新聞)福本由紀 氏
	16:55 閉会挨拶
	近年豪雨による激甚災害が数多く発生しており、災害に対する防災・減災に対す
	る取組は、どのようすれば効果的なのか、効率的なのか、地域特性もあり、これと
	いった方法が決まっているわけでもありません。今回、4名の講師から、地域防災
	力の向上に向けた取組みを紹介いただきました。講演①愛媛大学の矢田部先生から
	は、愛媛大学と松山市が連携して、松山市内の全世代型防災教育を展開されてお
	り、防災士の取得人数が 7400 名弱と全国一の実勢とともに、若手の地域防災リー
	ダーの育成も進み、消防庁長官賞など、数々の表彰を受けていることも納得いたし
	ました。講演②ひろしま NPO センターの松原氏は、平成 30 年 7 月西日本豪雨のボ
	ランティア活動について詳しい内容を紹介いただき、多くの課題を抱えながらも、
	情報共有、連携・協働、問題解決のルーティーンを考えながら、ひろしまネットワ
	ーク会議を運営しているという講演でした。講演③技術士会の福田氏は、DIG 防災
	マップの作成事例を多数紹介いただくとともに、防災まち歩きを取り入れたマッ
	プ、3D 防災マップを使用した事例など、最近の研究成果を紹介いただきました。
	講演④広島市議会議員の山田・西佐古先生からは、広島市内の各地で防災活動をし
	ている様子を紹介いただくとともに、広島市地域防災リーダーを毎年 200 名輩出

し、自主防災組織数 1900 名を目指し、自主防災会の活性化を進めているところということでした。最後に、話題提供として、中国新聞の福本氏からは、広島県が進めているスマホによる防災タイムラインの重要性、アプリの使用方法について解説していただきました。

今回の防災講演会は、地域防災力の向上を目指してという大きなテーマでしたが、これまでの最高 440 名の参加をいただきました。今後も技術士会として大変参考になる講演内容だったことと、講演会で得られた知識を活用できるようにしたいと考えているところです。



矢田部龍一先生

松原裕樹氏

福田直三氏



山田春男·西佐古晋平先生



福本由紀氏